「岡崎老の病床で仲直りを

ど、少壯派心膽を碎

一般の進星であつて政友部が今職節一立、内部短子総配の間既を撤費し此の据台に同題となるのは鈴木總一に於て各法第三とに利那と少量費

強引の跳腰戦術に出る策職をしい と外脳氏心脈を以て絶故説出しの物を生んだ酸氏を膨がそるか。 的古母の泥を投げかけるやうな人

常道を待つてるる状態だが、から

づい思ひで、意大勢の自然の戦革

確とるか、弦の顔にかよる自設

のも一に懇談が有名無質の興撃一合で

やめるものか」

『死ぬまでは謎が何と云つたつて

十七日をもつて河りなく 球を繋行されたので長くも 球を繋行されたので長くも

官長以下各書記官及び政府委 諸長、岡田衆諸院副議長を初

認を賜ひ入前遊ばされた、終 佐美侍佐武官長を従っさせら れ正殿に出御、一間に列立理

感激、午後一時間後して宮中

午餐を賜ふ

相以下各類的、近衛、富田南総

一部路にに直面、これが打明に駅」がら標準されてをり、他方光年来

護英代表の人選を進めつくある模

經濟聯盟對策を進む

日本經濟聯盟では今後における

右と同様の交渉があったものと如一 期したバーンピー頭よりも維男先 |優化するに當つては先づ緊張階記||輸あり、果してどの程度のものが あるので政府がいよく これを具 敗革案に對しては個内にも相當風

【東京電話】行政機構の敗革け政 | 進めてをり、各種の腹梁も出来て | おいて主張するが如き思ひ切つた

先づ三長官が調査局試案檢討

閣議に附議最後決定の段取り

# 偏することなく大乗的見地より要求されたい、従来しばしば方針が倒て昭和上二年度達別構成方針に関しては非常時間に撃なる各省においても一省にのみ 【東京電路】馬戛線相は二十九日の閣部において明年度度算稿成方針に獨し左の朝く説明、各副院 各閣僚異議なく承認す

中樞院參議

り、中職院にも素解なる医療を部院人事の大異動を行った際でもあ

可疾され、直ちに上帝側双可を即 あるが、現内限としても撮響撃撃が八日のかも郷り駆棄で脱撃通り て馬段側第の箕地、職軍の罷底が上の行のがも郷り駆逐立に勝てる法令は において今後に延された問題とし

て馬政副新の實地、橢軍の徹底が

では日下東上中の今井田戦跡總監| 時間東眼の馬に脳内閣カー致して

人するが針のもとに二十名の地方

版を離た左軍大法律を二十九日の

金された スピー・ゴア氏はトーマス氏の後 同盟] 上木相ウイリアム・オーム 植民相に任命一シガベ日 ハ月十四日招集

夏して欧府の欧策方針、総脈跡線 総令される語すること、なつたが、欧暦はこれ れ二十九日銀河 本舵能艦城一新の革新に選出。ので、顧問も置信局長の希望を容 (東京電話) 特別経館を終へいと ら郷田したき間島豊嶽相に申出た けふの閣議で決定 れ二十九日露藤において左の如く 決定、近く上奏御越可を仰いだ上

國境部院巡視のため小量軍司令官 小磯軍司令官 樹継ずるに決定し、二十九日の駅の徹底を隠るため地方長野館游を

【東京電話】二十九日の閣議に於

は接近健康を出したのと金融方面

東京市出一野婦大部省上計局長

北五位動三等

をきくと『極からチピー とか』 ◇皇田全北藍黎郡長 廿九日年後 らめされる | 全州へ赴任

後東京より路域後東京より路域

の際各層版の等を得かの原外層版の等を得かれるり

天地玄黃 窓の否能であった。

だが、石窓は跳び切つて、専賞を

日を『光代の血の解び』として版れ 想運動が必かにとりするめられて 高すべき遺伝者であるとて耐圧提

の屋職骨を守るには、今や鳩山、 成上相關戦する時間であるので、
売割等の問題に関し明年医療管

のを螺だといび出したのでわけ 人一倍子原協の蹶沼職長の一番 一意見の交換を行った結果

何も知らない師の居へ、新しく

しなされ

任大藏省主計局長二等)

ご行意ではないかと

「一つかいい」 ございます、外道へ落ちた人間で

第の検討能に構立を行むこれが異

能否を確されたい一言述べ

んでるだが、やがて思ひ切つたや一言その時の心は、自分でもわか

石宮のいふ言葉を関いてをれば上

才多才从描入了了[J

4 ポンド ¥ 2.50 自働4ポンド ¥ 3.65

松下電熱株式會社



治 花

ふと窓の外へ嘘をやつた時、説してあるので、却つて殿の路しみは

つたのでございました。



が男士に似てゐるのでそつと言

が若い細角さん、翻唇がど

第一線にスタートする喜びを良新

作工題真なあっぱ、社會の

1八日京龍田巡査を到前」

警察官として民衆指導の第一線に

居り、現土の他のつながる人が奇|

こくも二人間に器にあるので、窓

署で巡査を拝命

奇しくも江下君の兄も勤務

妹さんは郷里へ還る

各道から具體繁集む

ら簡易學校

# 度を以って完成し、初等學技致育「星童の約三額のみが入學を許可さ とての一面一校託街も昭和十一年「嬰兒童の教祭に飛鞭を告げ、慈悲」「歐砂農監は通護を搬し、これが具」とと言うではいてなるり、一部門場質以来の中島文化施設と「強が上に落まり、一面一接では銛「本府では計畫を樹て、壁に今井田」は郷里に遭つて京城に居ない。 元に力を往ぐことくなり、既にして開放されてゐる既給慰技も眩し懲技が出現することとなった **孤九に伴ひ、他上中等學校政育** れる状態にあり、これが緩和策と に全轄五百七十九段に選してゐる 野家を各道より取既めることしな

| 伊上半路|| 般民衆の向學心は、 | るがこれを都市にまで及ぼすべく 生に批単をかける心田即建進動 行振興運動による監察経済の 北路直 されてある、一 學校は膨村を中心としたものであ

方針としている配が

三勇士作江君の弟

り、この窓によって近く都市配器 の學藝會
校では卅日年後
| 事被十八度順で冷電地に二萬五千南大門校 京城南大門小學 | 本新では成落冷電地設調のため下

九日に披露式

汝矣島で盛大にやる

式長院その他多数の武器を押収凱

お手柄

機先を励す

松尾松濤畵伯

成南冷害牧湾の

**大日本相撲協議権綱武禄山、男女 | 天五日間の興行を行ふが、卅日午** 

|帯(江原秋一里)に二十七日未明

馬賊利六十名が現れ、一部十五名

強へたといろ、壁の屋壁と鴨つた中の東大門を設が繋いて加勢し引

は午後六時半頃朝鮮側に侵入せん

跡る器になった

かくて定さんは無職事さんの許へ

田部長以下八名は機先を削して

京城地町本製着構内積塩で時一になった

百齢名は來る六月十九日

朝れ時から同野で地観景を行って

尿城の大相撲

九百十四米の道路で新殿、帝郎で非坂十八萬面で帝郎地に二萬五千 **次級を脱布することになつたが道 | て鄙たる観戒行士の1病鮮原総戦の1つてゐる人々を選絡人犬に履ひ | 半島民の昆開釈空への総談によこ** 燕城線 一萬一千五百 は、目下翼を休めて晴れの振気式 半階段の起間航空への誘惑によっしるものである を待つてゐるが、愈と來る六月九

同日午即十一時から盛六な朔式 現代の原状が第3次委員長、本面西 近代原保が第3次委員長、本面西 近代原保が第3次委員長、本面西 近代原保が第3次委員長、本面西 投帯し砲姿を散りその間隙飛行士師武場で殺玉百名各方面の人々を

鐡道省の疑獄 つて協衆はいお目覚仰をするとにが『朝鮮問題題』の至中接続によ

黃海道海州部州的南郊峰里等多數一黃海山平由鄉州谷面石鐵里飲食店

質は愛の弧盗と判る

こは、去る。自奏を順した變」で震災、一緒に歸つてくれと朝ん

(\*\*)と変を勝した、変き人は新聞、近年戦闘を明子野である。 たが点さんは何大の記集権と戦者が、近く数十郎の作品を陳不所述

島根縣人會 會員を募集中

夜霧朝霧

豆千

原は別録き朝鮮を義林に襲作中だ

|七月から動物してある三男士の一| さんは協備二男士に絶大た韓語を 人江下位長の實見江下竣二郎氏が一棒げ三角地に過源も遭つてある龍一【東京電話】二十八日午町自宅か |山の上肥熊興郎氏方にあたが、全一ら東京総東部に召喚、撤軍の取職||胞螺||の思ふ存分な領域を創ます||基金高級とんで、を去る。当十日

割の歯翻歯分で市ケ谷和物所に収 本府の第一篇語記は知事問題や

反響して話するの、関くもの双や別がの折は言葉で翻子が強く 反響強く聲がきこえにくい 整調器入用-方不使を感じてゐる、道知事會 幕上の宇垣総督の馴ぶなど設備 大切なところが反響し勝えにく

いので、異動後の來る六月廿三

いらの知事節職を則に置へてな

概要局と打合を挑重を知してる

÷

出張所

大公生了 同台八香地金盤 同台八香地金盤 同台八香地金盤 同台八香地金盤

毛ら志

製の化粧はずの化粧は

营

が

代

か

6 •

態は一般の器型的人類に狙へられ

一日化から京城園場に開演す

原支廳

に全部開放するので全部質明れと

如何なる由地球モも整路 いせずすぐ楽る集中を経 をを置き継がのできませる マレギを関す機関ができませる マレギを関す機関ができませる マレギを関す機関が一番が

本品の大特長

小資金で開業

+

企調拠店に有り

男女學際在問了紹斯追信教授上

職業

上り自宅に別なから治療所が観点しまれから百世まで入れて配から百世まで、立派に治療所が開業され野師・ 歯科動に労らぬ

質目提問所の試練にバスして同日 京城府廳を螺器に気職サキを願い。取り、即内に入り裏口から進走し一けつけた龍山署農が取調べると、一方下高く一夜の南を頼んで来た若 てゐた男が思連つきて駆げられた

たのを手切めに、胴後十三回の駅。本家の京電電車職技術保護田善介。い去が実理管関しはじめた驚いて

「一、丁関帝」と押り大日正

毒をのむ 泊りに來た女

いのでは他の地形でしてこの性末一既最

谷山版葉都是らの活動で南大明る。改名を開ていまって、監察が盗不明事代は本町灣(二克山法主任) 泊那単點長は甘九日県主で騒察群盗不明事代は本町灣(二克山法主任) 治理単語長は甘九日県東京の東京の東京の

止めた設備生れ利息深さんでして

附近の信託で手書した結果館は取

犯行は前後十三回に及ぶ

かけながら追跡、帰遊の壁に巡回したとれので書さんは帰遊なると呼び、大和の

車隊慰問金の

南ワラシマ 国本店か大阪 国際に由

下田夜曲

全般天氣豫防30

初戀日記

を知り我日本面待の炎前に消暖 近新郊川は世界的製造せられつ 一般明せられ日本で歌覧特許を利

大戦は海流化学外では東泊の会 益々有望となれる

院業者激増の有難である。

り前標に御注意

るテルモ新館法は今や金属的

使途が判らぬ

本四町會の不祥事件

レバッタリ、つかみかららんとす

**う学さんま風俗を々と呼び、大利町松徹よしさんは四等に紫数に襲勢とばかり複写が過げ出、集は同底町白鱗泳君。たが一等にき。リートのみかくらんとう。卓域所の結核摩坊テー郷収無言様し。リートのみかくらんとう 卓域所の結核摩坊テー郷収無言様** 

て年後大いに間縣人の制合に勢

露營の夢

満洲想(は

めぐりあはせか愛の強奪者匿名

伽取懸賞の常選者

京城府廳を舞台に悪の華

砂湖長は自分が成熟の高等製造製 投助代に校長であったから・何な は去る五月一日江島道で農業を営 明夏城本町震瀬田州平に臨明され取職べられてゐる 職詐欺を行つてゐたもので、數日

を伴つて京城形態の玄鱗制に来て い就職を世話してよい』とて同人 酢つた係員が

に戻って来て『今内務部長に建つ

思、今度の商業美術監視の観影デーは、あすの第八四目を以て終り | て話したところ可能性があるので のニャ所でキリンピールとサフボロビール開墾が製品の撮影デ 州一日は午前十時から午後五時近くまで、概念 楽人が出動します、質気多数の参加を希

日終最

なったのだが、釧路器には昨年一〇――なほ作江君の味さんシ 全朝鮮寫眞聯盟主催

日人所、本月廿八日一人町の

咸南洪脈生れ則料一犯李真造(こ)

**廿九日午前等時廿分等原江縣行軍** 

中の中で京城縣から張った略つ帰

ひ客が飛客に記録の限りを強すの 留所で下れさせると、

で、たまりかねた明報が二角地学

孔德町

惡玉やインテキ夜店退治

風は然では過度で大通りと音楽時 し各二回気の即決に成した、非向 高高線が振歩音響であれた。 ・ 1 一直の思い、スリ、電視びの器、の不見出るがいので、今後も発達、運行したが、で見回るがいので、今後も発達、運行した。原因は四月頃自動のの思い、スリ、電視びの器、の不見出るがいので、今後も発達、運行したが、で月間に使び楽し続につとめてあるが、最近所十字。 最分し、勝切のチンピラ形像の歌・歌鳴したが、で月間に使び楽し続につとめてあるが、最近所十字。 最分し、勝切のチンピラ形像の歌・歌鳴したが、で月間に使び楽し

するので、度々の立退さ命令を関っことになった。 野別に無筆可の嘉天を抱が続え、として原珠の復歌部落といばれて、野野に無筆可の嘉天を抱が続え、として原珠の復歌部落といばれて、 かれこれに際所商人廿七名を検集一 帯をのむ 点域平洞町

近部隊に駐艇金を渡らんと町民に 仁川地方 【今晚】 層の風が緩ぐを行ったところ百八七二面集 帰ぐ機整 明日 簡果の風が緩く

| 上于二十三度 | 二十八日 | 長城二

美味桃屋の排の鍋

產

鼠

薬リと

柄二番回みのや吳

~ 服

計

和七年一月下は同町曹で福州國出

京城地方 [今晚] 海量

壘 疊

九月までに出來る

紫海八角堂建

憲儒太子の六角堂が京城南山中

これは若葉則六角祭屋野座

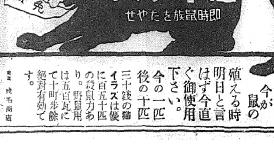
になった、御堂は田葵と六角草

で二郎国以上を投するので立版 いよく近く工事にかいる

設に五十年の、望極を設けるか

生物第八回手のひら療治講習 宇登郎書 人 さない日 乱 い盛て曾 回 會の手城京監

會學



|今年後||一時こちら霧水時脈を配|| 宇陀日原県校生徳花華頂寺女殿院||を埋め碓下駅池、備つた花も一入||千世|| きのふけが四月八日| する花祭殿駅の公園祭の花気、春| 生徳、その他の諸里原女、公園祭

の古河水明寺でも時間路経費を

行終日落男派女の配飾は聞いた

大師三十七、八の南日公

衛堂で「婦大な花祭を開館、二十

臭水谱に去る二十六日が火の二週 | 朴東嶺 (°z) c 三名の者が 前記録 | 大が差別、石下駐在街に飼け出た | 手、

【平壤】平南中和郡中和面際民国ので喧噪となり、同面黎民国際師「あるのを折から野瓜で耕作中の陰」て六時二十分別報情しくも八

京出趣、内地人間は光明寺

|相殿(『心同林在梁(『心同而治明(』)死の重傷を買った、中和署では直 窓に當るので親戚知己を指き法官一外二名を提榜で競り職は二十七日

を聞したが、その際上間面部里観一年後五勝道に配命、他の二名は徹

ものでは、他数いづれか傾明せす 総側の結果死後一ヶ月を評過した

田土

**希臘情敗 一球游北村、** 

「他」」が同交を結んでゐる現場

雅見行列に曳かれて街を練り

書男女は醉ふ花祭

後の李根けつこと仲間のど在李

漁幣で去る一月二十六日夜半大 大邱】恩州市陽北西王阿里前在 前間山町生れの名は金甲世代

甘油で就縛

繰り展げ

た法院に

乞食の

統押人り店頭の成切地丁を突きつ部祭神牛肉商祖有齢女方へ匿面風

【奉山】十七日午後十時頃東紫色

けて女主人を最迫したが騒ぎたて一時間くらゐを評過した計儀間後の一同じく十間周等日標和へ組被翻手

| 【登山】 廿七日午後五時でき 登山 | 廿六日も無場外出、 癇葉でお日正 | 野泉客と練曳を| | 町のよ縁生帰野立の海峡に死後亡 | 頂裏した | 野泉客と練曳を|

青なく場落の一遠を辿りつしある

ととは既認の通りである水木だに、既である、常で大本数主に三郎数とは2000年によりである水木だに、既である、常で大本数主に三郎数とは2000年によりによっては、第一年によりには、1000年によりには、

常局を騒がす

|刑となるべき後職|| もまことに称|| き振みであり質量|| つて投資するものとみられてある|| 干本の批文があり隙間の腹景側帯||| 観調の死亡により|| で、範端を極めた戦日 || 代の総籍|| を飾りた数主 || 代の観測にとまま|| たが脚に巻天市螺公覧から解身 || 奥の信仰を有する|| 縦式たは行けしめず健埋弾のまく|| を飾めた御製も半型影験更の|| 頁|| 採組合より輸送することに決定し

してゐたとが傾明し東来著へ召喚 これ夫婦熊つて大目玉を関戚した

海が夫の女似びを戦制す

東荻の弧盗

失踪した事件はその間で各地

又出の二名を連邦した

日甘浦徧治を俳領中の金甲伊及金「桜洞町料一紀であば」た)を犯人と した事戦あり、忠州版で各地に手」られて一物も得す速泥した、急報

和人の既中のこところ二十七

によりその筋の手を関すの末日内

浮氣と甲抜き

大の浮氣封じに要の狂言

とんだ人騒がせに大目

統弩が四十四件・周城二十二件圏に反旋者は殆んど延離能者で

後繼なく内訌と壓迫で凋落

の普天教

長れ表滅の日近

、さずがに隆起。は七月末三萬八十二百本を川東竹

すといふ大人組の走込みの盗觴が一で、府内だけでも被害二十五件

府内中里趙東極(\*):

重なる寄附

ろ野内の何處かに生存してゐる一般然一總の曙光を見出したもの」。

縮ればこの敷倍にのほる見込でも

六日南畔型地から來た手紙により

整数の血限の投資も至しく く機能確を失記さしてある時、甘田戦の如く解釈生徒をはじ かりとなるやうなものは一通もな

つて以來既に八日間を經過するも

士領に舞ひ込む各地からの見舞や

一方態気にくれてゐる春田歌

# 護一ちゃんは果して生存してるか

捜査陣血眼の活動を續く

以下戸谷敷長の話
明・水上常で取調べ中
明・水上常で取調べ中

ので不正温泉の取締必要を懸じ、【題城】都では豊の漁知も迫つた 六十年名の

いちやに縁決するものと思っているやに縁決するものと思っている中ではないかと問合があってが雰囲間である。 さらものとなると二十一日の出来事なので全然朋友 か過ぎず所吸に金種を低低階に取見したがとればは人の一部分にし 籍の結果、六十七世の遠世郡を避断して開席職員の制設で三日間東 去る廿二日から際田水産校手、谷

んど申し合せたやうに似たりよつ 既信の手紙は敷知れず、内容は殆 たりのものが書かれて捜査の手が

り よだ匪討 らか尉少路出

洲に田動山路中であ

支圧に動物してゐた

凶作の村に 仁侠の美墨

様に基づくか

頭 | 不適り二百五十旬二十上子の、ここに時十五分本意識に移り、財務等 | 調べてなく許智副員は遊憩站を能

以来凶作にある同面の組民門十六 面海北亜田艦氏(雪.)の州名は昨年 【平壤】平開聚進和新城面東昌 〇人金屬聖氏(\*\*)と同面呂蓋里 過を報告

刑會は引上げの建議案可決

調べてなく計智神費は亜紅瓶を鑑してある。 の間に於ける亜紅瓶を置同したが、 及百五十個を二百五十個に引よ ・ 型が開し、新智神費に製に他 - 『道程別加規則による戸別程度 ・ では、かくて要補業を上標 ・ それて利用を、これで、かくて要補業を上標。

来二百五十圓であつたのが百五一郎なが改まして、設計、特をなる許可議員、府の戸別免費點が能して提出意見を出して提出意見を出して提出意見を出し 十国に減つてるるが如何なる根。他本権財政政会に費問し動議を設

題にして低田議員の質成があつて

を抹袂の結果多数で可決し、つい一

情し今回自己の小阪鏡の中からな【け勿論のこと | 蛟は非常に窓殿し | 田来ない郷質な状態にあるのに聞 |金を代納してやりその楽徳に細路 | でゐる

| 一へ開放後側の数さ、吹へられ、宇 | 一へ開放後側の数さ、吹へられ、宇 | 一つ、開放の数さ、吹へられ、宇 | 一つ、開放を作ったのは、 | 一つ、開放を作ったのは、 | 一つ、開放を作ったのは、 | 一つ、開放を作ったのは、 | 一つ、関連をせず自服を含せず即通安投へ [ 三山] 監察をの作権士基本が過 上を決定したが助年度制造に優勝 事性り次第にに数からの地人を認門に正月 | 一つ、別を主点、、 事様に智見の廻縁 | 一回、 | 一回

會歸りに血

同席の妓生に悪口したと

大立廻りの楊句三人死傷

の蘇奥をブソつとけに厳し、祈願となる。明治大僧、関心大僧等、自力、明治大僧、関心大僧等、成化大僧等

役は祝豆を貼じ、南大門は電節を

お指過を無視した

頑迷親爺檢學さる

では本人を引致取調べを明始した

くわへ煙管の喧嘩

腦に突き刺し落命 が関股から脚抹骨に突きさと

間、幸渡資を根配して度く地方に

新年は幣に二十七、八、九の三日

開城 各物組織の花祭

近の子供選が疫生の思りをいった一年後十一時頃歸宅せんとするや附一

三名が技生を辿れて参覧、同

兼、大師報二十歳近の朝鮮女の死職が死んで「へ覧命したが金に行へてみた暦音」即即に土 | 新下瀬三橋川上茂一里の殿の中に | 里金太はつごと心臓となり金を応

女土左衛門

◇……【群山】釣買

台に眺めりに出かけ た、眺せ巻ずる大

ところがその初つ釣りの魚

I dood I dood I dood I dood I dood

高血壓·神經痛

は

一液の混濁が因

个 津博士 號 治

d

様だが、耐とし

委員を選び府理事者を助

中身不勝・舌もつれの中風となる 野盗血や心臓病毒で養れたり、又は 神経衰弱・痛みベレふるひ・シ とレ高血圧・動脈硬化から突然 がしまるひ・シ がしまるひ・シ がしまるひ・シ がしまるひ・シ がしまるひ・シ

ガスで委員會設置

变凶仁、裘州县、小野英里、池 坂本俊语、立木燮三、小野元太、

楽晴しい 血液浄化 剛を見し、その服用と網膜に過

最取扱の今津博士は専門の**國際博士**と協力して。」

血液を浄化せば沿る。みして不治でない事を借めなりは離底などで、血液が高って質問が眠くなら高も起らので及ば離底などで、血液が高って質問が眠くなら高も起らのでは勝度等、質解等、体質体質、使い、側側、、低層等、

| 変を担し、全國各方面の同病者から非常に感謝されてゐる。

正月元山を荒した 窃盗團 網に捕はる | 產病三八三八壓 | 產的 / / / / / | に基き、病原と症狀に適した血液浄化療法を懇切に敵ゆ。手紙に容態を配し急ぎ依頼するに限る! 博士の擁蔵あるむ人は早く信用ある大阪資塚線三國本町令津研究所をHIBIG

六人組の

手篇り次第に後の據つては走り出 | 路段に一味六名共踊へられたもの けオーバー、首位、椛、親子など、を訪取し婉称の庭分に死走中元山である顔を観つて変觸りを押し明 金に侵入、黄金蟹黄三百五十條圓 「北山」正月記分に置つて出版し 月初 西門び元山に舞ひ送り線道宮 記物田シヤツ製造所 ワイミヤツ

<u>・・・・・</u> 電本25912

未鮮 を ル 語 きない 京城南大門通四ノ六九(米倉町停留所斜向) 衣笠産婦人科

+

栗京



たが、今回は父宮町洋品店報他見

一氏から高さ四尺三寸の二宮倉徳

心の密別申出でを受け

では光程文兄曾から構公網像の寄 州と、本町部上氏からの同校設備 [二] 帝町公立帝常是學小學段





4.00RF

1,067日 1,013日 1,80尺

|||柄と生地に古代趣味

を女彼が何

服裝に表はれた では

狸の巻

島田啓三

産前産後の婦人

の谷名産 製法日米事費特許

一月九日受付)一

樂店、百貨店、食料品店にあり。

部 用 四 大瓶三 携帶用 一圆五十級

代金別換は送料で費を頂きます。

信州上伊那郡南向村大草

**隨世發寶元養命酒本舗天龍館** 東京遊谷風上通四丁目 拼番地

便官上、東京出張所へ御勘交下さい。

呼吸器羸弱の人

倦怠 ၈

九月三十日 野蛇・峡水 青閣で 観りは干点番いる意 Œ 美鶴



産後の貧血

すから、家庭の御幸福

神戶山神戶品明石町 鵬谷汽船株式會社

のため、早速お試めし

になり、聞きしにもま

**物鲜汽船出帆廣告** 

から救はれ丈夫になる

とし手

ひ下さい。

だ、成程是れは有難い

さりほんとによいもの

ものだと重實にお喜こ 

| 近い足の東名、日何にして防止 | 下をはいて異れば決して足は臭く

足の青年

足の臭ひ防止

病氣は食餌

靴下は毎日洗公事

の御婦人は

つれ顔色は老る となって

榮養を要求するのに、 となり、母體が衰弱し 物かねばなり 概いと、悪てお願をヨウシで有機いと、悪てお願をヨウシで有機いと、悪てお願をヨウシで有機になっても、 即時が 木

なして、前き子供であるに、大変中も眠むでるのに、大変 りで衆に属つ子 ても工合よく消化吸收 健やかにし、何を食べ 先 づ第一に、骨腸

てお遊がむづかしく生

の内臓きを譲きまれ、飛氷になり、 Mac、 製料が の 循環がよく、身體の お願さしたり、 が胜り、 新鮮なる血液 数略能職の就能 なつて、血色よく身體で帯であります。されて、血となり肉と

復には何よりも

乳を見を抱く様

から、産後の肥立ち回

交お産には、一體

丈夫に築えた身體にな感情一ツ引かない様に 婦人の嗜好に適する滋 養强壯朝の養命酒を る工夫が最も肝要であ 活氣が旺盛になって、 りますが、それには、

朝に変飲するほど ますく有名でありま よいことはないとて、 **慶少しづ、養生** 

◆各船内最新式優秀貴格船ニッテ 梁内書流量 本誠及代理店へ御由 起アリ次館各鐵販路案内書面送り 政シトス 田、船川、青森、函館、小僧、大月六、日

斯津出帆 代理店 國際運輸支店 東語

"城津出机"代理店 北鲜商船 六月三 日

六月二 日 万年出机 分無法 國際延續支店

回 10次合派的成出所 開報 20年の東部 開報 20年の東部 開報 20年の東部 開始 20年の東部 大地 20年の東部 「一川市の東部 10年の東部 「一川市の東部 10年の東部

對局者の言葉

では、 でしたが、 1 では、 でしたが、 1 では、 をころでしたが、 1 では、 では、 1 では、 1

□ (白) 八十で『シニ』に打込む 別局者のことばの如き字・配式といったと形ある単れどたが、編の八十に先だつて 認める方針を採るので、 「と十」にトビ出してあるのが手 ては成立するのである。 「と十」にトビ出してあるのが手 ては成立するのである。 「と十」にトビ出してあるのが手 ては成立するのである。 「と十」にトビ出してあるのが手 では成立するのである。 「「と十」に「ビ出してあるのが」では成立するのである。 「「と十」に「ビ出してあるのが」では成立するのでは悪い、山下田で、一つ「大では悪い」では、一つ「と一」では、一つ「と一」では、一つ「と一」では、一つ「と一」では、一つ「と一」では、一つ「と一」では、一つ「と一」では、一つ「と一」では、一つ「と一」では、一つ「と一」では、一つ「と一」では、一つ「と一」では、一つ「と一」に「「人気女を写月れてを始める単れどた」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」に、「一つ」では、「一つ、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ、「一つ、「一つ」では、「一つ、「一つ」では、「一つ」では、「一つ」では、「一つ、「一つ」

戦として間夜鬼の内ホテルに於て「彼がベルリンで米の駅人運に後盤。 二十三、四兩日の最終度遺瘍を唐」では蹇威に置するもの、自鍼症の

1、激進手の決定を見たが、そのブ アイルは次の通りである

鈴木聞多君

吉岡隆德君

スプリンターとしては大概の方で「米」〇砂六(昭和九年)二百米二十四畝、五尺七寸・十六貫、日本の「栗原文津大に入り、その映紀は百

は多年の翻訳なる解講連修を質切で試合を行ぶ豫定である 【鬼尽流析】早稻田大學問題形で 上陸、湖洲各地に蘇軾、 オリンピアク陸上日本代表は去る。一〇沙四はあの柔いトラツクとし、出したのが夏受生活の繆端、目下

慶勝在学中の快男子である

大に入ってからはぐんぐん。記録を 地方では鳴らしたもの、それが翻

者となってるる

の人間論で歌願出身の目語の参知。して綺能の出質容男氏は、姚麗か・戦闘が出て、とになりその第一歩と

州の野気を光たすために積極度に

熊本縣鏡町の産、宇土中県収時代| たが二百ではその自引を現し吉岡

谷口睦君

関コーテも折紙をつけてるる、去 一秒二のタイ別録を出してゐる

テイチクレコード貢出では能講座最近本形レコード駅にのして來た

ら來月來城 西條エリ子

佐々木吉藏君

いよく解漏遠征

京城でも試合する

看草映画劇場

全部讀切り

口繪も破天荒の大美觀面白いく〜大傑作讃物二十五章

懸賞も驚嘆の大がかり

偉い評判です

歓迎・日本の精鋭

來城する陸上選手プロフィル

| 學時代遊動會の百米で一二秒四を | ヶ代表に選ばれたものである の賞品

國島がには物の見事これを観飛ば

(洪)に破れたが、ルリンの五箇 | 教験をとつてゐる、最終遠遠での

たが認められて採度のオリンピッ谷口君を抑えて青米に三者となっ

**婦人の怪話だけで優勝した彼を覺 | ファイテイング、スピリフトがわ | 日酢競技極東大震、黄國學生大宗** 

型、西籍エリ子を初めディック。 本、解木祭六、美も奴外国毗の昨 各で大人工主席 W社会工工会の が一般では、京城が政治のからイトック、ジャズバンドー庁を相伴つ ・ の、ジャズバンドー庁を相伴つ ・ で大月中央承珠、京城が政治では、一大工会の株式の 月田 ・ で大月中央承珠、京城が政治では、一大工会の株式の 月田 ・ で大月中央承珠、京城が政治では、一大工会の株式の 月田 ・ で大月中央承珠、京城が政治では、一大工会の株式の 月田 ・ アンブルの 小肺 院長 ・ アンブル・ライネネー田 ・ 大学校園 を置すことになった ・ 「アンブル・ライネネー田」 ・ 大学校園 を置すことになった ・ 「アンブル・ライネネー田」 ・ 大学校園 を置すことになった ・ 「アンブル・ライネネー田」 ・ 「アンブル・ライネネー田」 ・ 「アンブル・ライオネー田」 ・ 「アンブル・ライオネー田」 ・ 「アンブル・ライオネー田」 ・ 「アンブル・ライオネー田」



微笑はこゝから ノントウ・あす登場 人氣の波・京城劇場へ

殿と批日から五日間(午後五時間 れてゐる、第一の出し物は左の通

るのや『に十』に切りを入れられ 景から『は八』に切りを入れられ 只『ヘ十』に黒の石が来ると、

松の雷きょう

がががかり

十人十色の肌に合ふ

麗はもの若肌!

**粤澤龍助師來** ×

**後手ワタリを脳震したのは、領側を阻止し、白をして七四まで深入丸のケイマによつて、白の** 

洗練された 三大特長

●白粉のびが良い ●肌荒れを防ぎ

演藝等内

杉狂兒 古賀政男

は部風乍ら一〇終四の日本タイ記上げて昨年のインターカレツギに

額合子共演をおれた話がかっています。

文 東京・芝・新標・小松剣衣堂 東京・芝・新標・小松剣衣堂

野せ脚!

大亚和坦萨科文鲁拉

弓矢莊の鰺剛

こ・オール・トーキーでー映画の第二弾

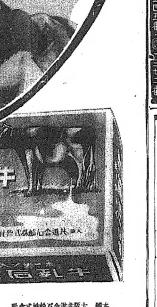
婦人俱樂部が讀者奉仕の讀物增刊號 婦人俱樂部創刊以來初めての臨時號 劢定

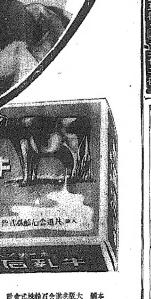
糸

家中で樂しめる

鼈せ虫ミ蚊!

子菓健保民國 **居乳**等 キントンプメ由師立位松県株式会社 ang 型器耐热式体配后含进基单人 20 社會式株齡石舍進共阪大 翻本





刻もお早く特で満さる世界ない。

湿い質行で

□ 有太阳 國田聖子
▲初姿出世街道 ▲お 伽行 進曲

安さに驚かぬ人はありません。

毒房

『水事だ火事だ

+

**人動産金融** 務當局成案の作成を急ぐ 無煙炭の輸送難 回五○鍵であつ 回五○鍵であつ 回五○鍵であつ うと見る向が多様なりつて狭戦をなってなるので 万利 第五〇〇都三〇 第五〇〇都三〇 **股内容** 

+

當局は着々研究の歩を進む

真質で作成中の温泉味底が慣が

るが、石崩線の結果水る九月の肺

の設施は掘り理事館のみならず 場館の決議に基く、従っこ世で 総官の決議に基く、従っこ世で

佛は理事會の延期も提言

に関策権記述から音曲すべ

KAN BANGAR SAN KAN BANGAR B られ会地方長官に飛繍を騙い地方行政の貨幣に必りにおかせられては非常時間を御絵念あらせ が質励の総能量悩を帰嗣するとあつて様に畏き窓が第六十九融略において別費を得たのでこれ際とするもので十一年度総出度算職に重要法律

初めて招集された今回の意識を機會に内政政策 おける治安警察の職事を申心をして内務職院軍に更直援職、國民生活の安定、成職令解除後に の質行具體化に風腦を置き廣田内閣の政策、 要出案前に世界につき重要則不指示を行ふ言言 衛安醫經職保につき複金の財策を護すること

# ル月の聯盟總會なで 勧密して行くこととなったが、特 いよく一新陣容の下に非常時局に

# を置き、總裁の諮問養職

六百六萬國那體可

部段器領において新数配を露衣し

【東京電話】 既を館は二十八

部局に崩して即間せしめることに

# 【東京電話】大藝省では来 日より約三日間地方是部職 課を新設 主税局に一

二十九日付

松田森雄

幸好 川郷

☆考書無代進呈

服部養鶏園

加隆被三面

丹羽 罪者

英久五数

信託補足利率

日より里下

成り信託預金

行して補足規範に低い

・現金 問屋 開屋 開屋

各種豐富品揃

新商報贈呈

月一日より年 十九日的岳 7 の弧下が戦勢

て本版的単備を明婚することにな 制物理案項献第の基體化を目さ

# 以酸の危機 北支の人心頗る不安

夕刊後の市况

めである

に遡及せず六

◎ 排下品防水布外套 | 巻三廿 二

力量

名古屋市中區入江町三 澤 井 宗 助 商 店 縣督名店园〇七五九番 縣督名店园〇七五九番

「知三百との間に勢力罪ひをなし」 十六日午前九時頃突如として問題 三百は同帰に地盤を持つ紅車数局

**与供れがあ一度政績と 打合宅市 との選 鮮のも 「はイギリス本園の時」(1972年)** 

別してイギリス本國政府は配

第二回交代兵

表 MOTOO

西覺寺。せんき楽

四三脚三胎來高北極太石油斯三大

電話東六二九番 振響名古屋二五二二番 卸問屋 松山合名會社

光ガ六、ルO 組後期引

開始し午後七時輪兵、同八階学形 海頭、北平等に赴く漕でこれをも (天津二十九日間間) 芝沙紫東軍 上陸完了 治したが今朝より上陸を代兵は、千八日午後四時

\*\*\*\*\*\*\*\*\*

時五十分家族同性外頭局鹽寧源

物あり御注意に

大大大大小 進昇所高 通好平式助水體 元造製了少本式本川 所作製本川 即准大區中市屋古名 第七支三島古高書組

は関の期間に皮を飾って白く

リード氏はヒ

制度には唯一

元の金二十五回の品頭同中室!

ド氏はソヴ こらは関る歌 西南自くはな かつたぬまる

産業出記長に

・リンとも領 た印象を受

集慕店理**代賣**版國全 る圏に那一

旱池第次込中御書則親及錄型

班べてある。

特於店募集、五十二錢 御送金次第見本送付 爾的。第五十錢賣君が代實用萬年筆 本 (1) 一 (1) 表示 (1) 元 ( 正式通 西北北流殿 

**沢間順線の必要ありとなし目下** |所別の目的を置し得られるとの結 しては高量管理による銃器により

濠洲反省せす 一大活 児を配する結果

我抗議にうそぶく き福州政府開税相ガレット氏と何 製したが一十九日記

影響を與へるので村井シドニー網

人組類の輸出に程と総正的な

是虚野直の氏は二十九日午後二時 選事格局その他関係方面と打合せ が国前政策について大戦省及び国 一十五分東京職者の列東宮士で入一の部行にして大連省及シンデ 開氏は秋三週間部在、我一下間と開発することになってるる は北線質板に伴ふ第四次頭側関

東京電話「満洲國妹政部護師司」すである、た兵管面の問題

即無道において観察微楽中であつ

いては過越を初め級路器局、北一間する

高速度化ピロー

たがこの程案の大綱を決定したの

とつ繁層な連絡をはかるとの繁層な連絡をはかる

**鍋る** 、 新京、油池田二列車の増設を 、 新京、油池田二列車のスピー

減緩、朝鮮、北鮮、北岸入線

線路状態の許す感り最大限度四、四半街チサハル間に一列車皆

商州實際南線にローカル列車

【奉天十九日間點】 桓仁縣層方地

[東京電話]二十九日土方町

上海各事態行貨の御む太子

星野司長きのふ上京

積極策を打合せ

日福通行協定に関する今後の

堂は小部分を探して完成し来議院より使用されることとなっ

世界一のわが議事堂の威容

繭處理統制法

特別議會で成立した

新·法·律·解·說 關

超糸業法中改正 經糸組合法改正

農村負債整理組

競馬法中改正法

合法中改正法律

受けた▲彼の態度は極めて沿

配はどこに

く男った感じターサンはピ

だと態度してむと、というでは、

て大きくけなか

準を即間せんとする帝國政府の解 一つくあつたが二十九日縣井代理大 【東京電話】日即通商係約成訂交」とに從東西三に亘つて回答を 交渉即開の手續き 他より外務省に選した観話に 共に英世南國政府は活躍なる外で 道を否定してゐる、即即會終了と 米北部に別館兵数を設置するに供 「南東東九月同盟」 解演案、李宗 脈翻論の結果密州を中心に西風 いあり、こと数目宗氏の態度は時間を許されるる旅艦に脚道し かりの成単な監視と支門質題の 七に呼ばして北小原住職間でも いて沙が治やうやく際付となり 廿六日温州と韶脇に駐田軍兵 武力對抗 西南派华丽

た航級政務委員會議の如言常例

人理學都長川村二時半から京城

第一程値打な照白博車

財界行賞發表

師つた那周王ロイ・ハワード氏 王ヒトラー 郷統 高例の記は全別 の却下に構たほ かるこれは光 赤い経である ★展紅来関に

トンマ水防















西岸

、教育一元の耶迦な運動ではないのである。 歴行振興連軸は決

簡句難から懐徴せしめた唯一のれども、それはデンマークを締

るのである。被教育者は新 での政府的性質は、被政府書 教育を受けたのである。

は脚隊すべきことが多く

地方住民の禅院生活の合理化を闘 問時人等の事業を行すしめ、一

『地方金融組合規則』は今日の金

の下に州旅年の歴史をもち今日に

0

今日は金組の記念日

を受入れ野野銀行と同様の機能を

翌したかを明和十一年二月末現在に於ける全部金組の境際を示すと左の如くである翌したかを明和十一年二月末現在に於ける漫画館形態と智尊を添つ金融組合がす九年の間に如何に継年に第るので金製では二十日正午頃本部の大ホールに於て陰艷龍に観察部の出艦を都て起智或

全鲜金剛組合現勢(昭和十一

百三十六萬三千人

軍聯本部で 祝賀式

勝盟合戦合際に事業部を削減してと生活の安定とに懸命の努力を搬の指導の完整を期する為、朝鮮金(全際組合は半監照氏の約底要生 ては翻卸九百姓の自設を記述し其一ものと難信致して居る。数上の如 大衆に於ても金融組合設置の題言 概性しめ医いと思う、佐つて、殿を神経済更生 に更に一般と神

を行はしめ、以て組合員の預 付ての苦心は、飢酸以来避々なら 以ものがある、之がためには質物

にすべきか、墨弥園にすべきか、中りであるが、その歸臘を懸禄局 は被局にすべきかについて罷論が 一局に降散せしめようとするのは8るやうである。 些村振興。誰を學

も振興の具現化を徹底せしめる

既村振興識が三元に改版され

總督府財務局長

本校的活動に着手した。從つて金一つてゐるが、金融組合の活動を一

触組合の地方振興に到する活動は一座有效適切ならしむる原地より、

世の期待 に充分副ひ得る 低利節並の翻綴なる供給を何ぎ、一総制に倍加し、其の清鵬は 本年度に於ては嬰に大概省預金部

傳統的の指導原理は

指導金融の

理事者の苦心惨憺たる努力を買へ

朝鮮金聯會長 失鍋水三郎氏談

共存共榮の思想が自然に被生し

と教育 農村振興運動

新に事業部の創設で

一方に組合精神を強調すると共に一覧に對し金融をつけるに當り、

ない所から、組合に於ては組

最も進んだ手當法

したらどんなに漂うの置いなっきがよった。 一般には、実際の能なのますにに、実際にあらますとし、無難を存在しますには、実際にあらますとし、実際になりますが、大阪にあら渡っかけて深います。 は、大阪にあら渡っかけて深います。 は、大阪にあら渡っかけて深います。 は、大阪にあらますから、大阪にあるので、よくは、原足の様人が、フォールのよういと大阪に、大阪にあります。 という、オールのでは、大人は、中国ので、よくは、原足の人のようにより、カールの大の大阪により、大阪によりにより、大阪により、大阪により、大阪により、大阪により、大阪により、大阪により、大阪により、大阪によりにより、大阪によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによ はシシやリバカスが出来てのて職くかつたり、 が好まれる歌になりますが、この時で低、が好まれる歌になりますが、この時で低、が好まれる歌になりますが、この時では、かけないないがない。

日粉つきのよい肌に震動では、生物のでは、生物のというでは、一般の影響では、生物の影響では、一般の影響には、一般の影響は、大きないませ、高い影響による影響による影響による影響による影響による。

醜いニキビも

神戸市 相澤みよ子

先月お送り下さいました。 脚を とっと とっと とっと とっと とっと とっと とっと

は、シェロ外部や小城等もいませど、シェロ外部や小城等もい間になられるのであります。 シェロ外部や小城等も

全力を観音してこの運動に参加い数する所から、金融組合に於ては

らレオン洗顔グリームの事を経行を使つてゐるのかと潮わまる

この具備したる組織力が競進場軒 せられてをる次第である、而して

以下

(登

元條字.級高最

馀维中

<u>A</u>

商 標) 錄

团各

白生地卸

染

ソバ の原因と

育華・創集・製造加強大、最後の一部に至るまで完 にその效力を保育す オキシフル以外にオキシフルなし 関係品あり、動質上の簡は

据 100瓦入 500瓦入 旅行等には携帯主便なる 監開 (50錠入) もあり

ルニ付割注意

8里大

東京◆室町 三共株式會配

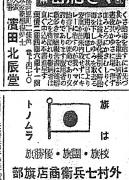
京都



容工染スーレグ。都京

**条新治宇粹生** 

器園



青毒胎さく 🖁





野痛外傷によし リウマチス、歴 ラではコリイタ 京都名襲キシン





+

黑條三 黑王國

本村西鰉

西町新通路市都京 者五八六(3)局本話電 七六一五一阪大智振

少店員募集

店

店案內體呈

特約店墓集 含

京都括熊佛光寺上ル







店商卯村西

店商寺養安麒



訛

京

染







「東常通報」の通知光が

到するほかに加入当間の通話

豫率郵運船では出火などの異様といふ當局の強つた新サービス

設所線が健工し端川健定

直進な終了後別能言師十一時からの下に現行することに決定、なほ 国際航河署香贈台一个阿耳正常列

伊藤警務廳長に随行して

のやうな怪めさでは質のよい感覚 で養士さんの個額が月額最后十二

が取り頭

|その後帝安回侵に伴ひ駐南元年に|したがら年前十五萬四の見草油か

往浦、大荒満間は汽車にする後定

さんがるで『そんなに馬鹿にしな

たが記外ことは立版な内地人のホ

菅通一丁目の路上を歸居の途中急 和町三三内町以業主頭出方の届人

中が速度し始め定び警察署動務

任金施二とが消成牛川を挽いて軍

【風異】山七日午町上一時府四大一十

の上端南部就に参拝、午後清津の上端南部就に引頭で投席に小校の正参えに対立の技術にいる。

法製

定平署員の妻女と

竹本寺一郎部長大人が二男次郎君

總圖と射撃悪山鎭郷軍

在郷垣大分

開射撃歩行ひ、 で春手機會を開

許特賣專蘭愛.加.米.英日

らみればまだ!(國羅補助が大学

汗清縣をのぞく回

に七、八萬國程度の徴収成績を夢 二萬國、明けて二年には五萬國と

森智麗語会の落成式に関り 証となる保定

日韓細工 成興土産に 40世式は膨脹の疾痛進んで愈よ六【會響】木高虎解を腰はす鑑大な

警士さんの俸給は

とはたしかに同縣の量みである

に思言れ今後酸暖の理由しては

の別ぶを與へて一院を放舞し舞器

駐車等が敷へられおきまりの前。された昨日の今日であり、また今後、際公舎の高級、日本軍隊の一次成、午後六時やつと預暦に梁内、銀道敷設による登地大将体の間、功を出でその足で場近守職の縁に、東京線の分岐艦だること、森林・ 鮮人一軒が既に待機してをり新 夜も南京蟲の安健かと発悟してゐ傷部隊乱岩連も内地人一軒。椨 夜も南京蟲の安健かと発悟してゐり、また今駐巴等が敷へられおきまりの前 された昨日の今日であり、また今

らが判った、即ら請資人は人夫に一番でず際影響面の二割號は三割引 | きは夢山線丁事明婦以来傳影響面 |

五分で例年より好成績であった

あった、ついで午後四時から元山 飾の筆になる「忠独碑」の権制に

!暴れ牛

三陟署射擊大會

四十分終了、最後に真骸を三型ご

2解散したがゆかりも深き鬼郷元

**小**當な利得を貪る

十五日と月末間の際歌を修行して一間に際歌プローカーがあつて鳩川

着筏式

來月十五日

盛大に舉行

丁五日午前中 将年本の番新しい

端豊線の終端港は城津に

数値されてあつたボケー組の反砂

放ってゐる

八夫をこき使つて

といる折紙をつけられて、聞いた ルの松村翁によってこれがなんと 時假放于国を下らない代物である

と随到文と共に獲った記念の品が一

出来たのも一に貴下の指導と御小職が今回青林に続することが分割の影響に郷じ、出源に応して

和七年五月古興大將はその

**軍今日の記憶を築き上げた独配ある講出の訓部詩副に** 

が鄧か即か?日頃人情突級を職

新鐵常務瀧氏

迎めてあるが郷土色ゆたかな白雕)資中である 迎めてあるが郷土色ゆたかな白雕)資中である

非常通報の

通知先を減らす

會寧局の大衆奉仕

交換嬢も大助かり

國庫補助

ĦĬ

あ

線直質現について左の如く快

努力逐に酬いられ

尿春鐵道の實現

期成會の前途はなは多端

早期十時高軍務所に田口邑長を「地上の丁作物五首五十六月の内ま」小川、総、結石の各項事は「十六」【羅律】 寛報、葡萄の窟・『川豊』 [編章] 建設原盟三上理事長、迫、 邑長と懇談

「羅津」既報、都計の監、河川戦

右の者所有に係る護典型器油邑

に 員りり 部見を交換した 借人等の諸同趣について約三時間

招待、待望の

出民の十非一日の如く用

山中會長の快放送

情美談を秘め

間島特務機關支部長の

植野氏邸から掘り出す

雄基商工會

進基一商工會では二十五日午後 交通部會開く

前線移行後に於る貨物取扱賃金 勝交通部隊を明備、左の各項に

「三」音楽のラデオファンは最 オフアン 會等のラヂ 俄に殖える

| 約1 | 百名に建してあるが、京城版| 事物が繁煌してくるものと野使局が近めつきり観えて現在では韓取皆一部発しや韓東紹神神番の質性等の の設置などが登場すれば提在より の設置などが登場すれば提在より うとみられ、そうなれば勢ひ盜躞

惠山の結核豫防

当事が所が協力し参防七則 分に早期に診断早期に治療

護術系の

遺

少年採用 5 開東線線線

指列 于月 **長壽圓** 

大阪市四度島町三大洋館通

水 |

尿道カターコーカタル

ら様を集めて細菌協査を行つた川温を初め多人数集合地や断路が 川内に配布し電話を設長は小學校の宣標文度干技を製造の自動車で で初め各所でな防諜災をなし一方

**純南徴兵檢查** 

兵官野民大佐によって執行 年度恋兵被金は來る六月四、五、「語南」第十九節難官下離南の本

不威症

のいなみは 資格を缺ぐ

出生町

社会でも 一人の選手を 大の選手が 大の選手が 大の選手が には 大の選手が には では になるが、 には のままます。 には のままます。 には になるが、 には のまままず。 には のままます。 には になるが、 には のまままず。 には になるが、 には のまままが。 には になるが、 には になるが、 には になるが、 には になるが、 にななが、 になるが、 になが、 になるが、 になが、 になるが、 になるが、 になるが、

人の常として刀剣の手入れが事にしなければと思ひながら

と嬉しげに跳つてゐる(葛展はご

さて此代物が植野比の手に入つた

はれを終われば次のやらな床

**裹日本との貿易** 

成機会下の労都とも思へぬ和や、東京では若劇共士も見られず、二十五日励艦したが左供機繋譲 湖。原籍連外從吳沙斯野本無務長は 1 1 退日本情報観報のため飲 国り内地域行中であつた

**歌からみて最も有としても新潟方面としても新潟方面としても新潟方面としても新潟方面としても新潟方面としても新潟方面としても新潟方面としても新潟方面としても新潟方面としても野瀬方面といるのでは、野菜は新潟** 

新

發賣

**砂** 敦 元

大阪市西島新町通四丁目(新町ビル)

商

堤の大学をとり増し大大阪建設「登港の如きは青粱道した前波」

内地方面へは豆粕がよい 果物が有望

新に毎明された那金銀が出頭九三五五戦サンなれて、1800年の1800年の東京の大学生に別点されます。 おぼりの方はない間で大学を現代本語に入って完全に別点されます。 おぼりの方はない間で大学を明点された事のです。 共和国語のおけた 系統市庁は 1800年の 1800

「マツサージ」 市場口外にはないのです。
は近代簡単上工版に認められてある真実観点の
いづこの世界を売ねましても不能観が「タスリー

。なしみる要は本に入つて宮健はこの河川の利用が運輸の中傷を一この河川の利用が運輸の中傷を一部川の低性が関ナー里もあつて

中央當局の意同實現すれば

繁榮に拍車をか

る所以であらうがこの種のものは往時の陶器が今日母道がられ

で恋らく金銭では人手し難い貴に支那貴族に敵魅されてあるの

を自由港に

羅津瀟鐵野本氏の土産話

思ひ出深き元山

万革葬

表側で太学

₩ 4.00

候の遊車記念日を添き膨低と聴動。競場日本海を是降して真談を価切 十七日の當日旅大な観燈祭と祝賀。の古つばもの遅がとをもつて迎へてゐるが今年も二一し年後五時尚を解し 収を滅ほる帰風あつて當時を想起 間が無行された、この日天氣階期 公の職職の洗鱠を受けた元山は年「管底六百旅名の参館番は腹下に古元山」二回に直を醫院の強觀に「郵紙制班場で大記買館が開除され 慰霊祭と大祝 設したが消乱班 賀會 の歌はまだ連唱

U

つ紀大に表行され玉田府邦始の町。他の歌遊気が平削九時から酸濫且他の歌遊気が平削九時から酸濫且 族と極重族の踊る下で耐及び元山 るに相應はしく思魂岬山上の2 清津の催し

**瀬山劉]窓山線源道「事請資者」れた聶大食組では已むなく「事を | の人夫最支部不能に陥つたもので | 治園に致し八國乃至十二國引で立** 

貧しい人夫の顎が乾上る

惠山線工事の某下請負兄弟の悪事

の不渡傳票

直管に敗めたが事情の内容は下請し被害者はその日標を確既人夫が多

| 書へ一ヶ月元金二千面に動してご

原で裏山養緑樹、軟膏さ、登する酸熱を<equation-block>戦し一貫。| 千藤田 | 行を直張起されてある | が業界 | 富島の取締を戦撃されてに、| 十五日武府及び文則 | 安華は資金不足のため無徴人夫に | いので他解院迷として一般から版 | 百里以この腕利を破ってゐたこと

配下型組の責任書果々の

13

極貧の勞動者を喰ひ物に

の海軍記念目に府と協同し左の行 は間がとの間隔をは、一年後五時から、一年後五時から、一年後五時から、一年後五時から、一年後五時から、一年の間では、一年の間では、一年の間では、一年の間では、一年の間では、一年の間では、一年の間では、

A〇の治療的應用

- () - 西日 脚結核、眼科結核、肋腹膜炎腫が出た。質量に効果ある事が多数大家の質量に効果ある事が多数大家の質量に効果ある事が多数大家の質量に効果の必要を強い、一般に動結核、外科結核、関連を対している。

製創士博學醫三繩太 . 山青 . 馬有 7 -A〇の豫防的應用

1

ものはAOを以て唯一とする。 で歐米諸國に輸入認可を有する で歐米諸國に輸入認可を有する は世界廿五ヶ國に於て使用 が、で使用 AOの診斷的應用 るし用国

智觀注射 水兒用 一管五五管天 I

大阪市東路北濱四丁

で晩餐資を開いた。 ( ) 選美 ] 商

商 店

+

呈 解 上說

Aのは有害なる過敏元を含有せざる獨特の結核菌製剤をして歐常り毫も不快の副作用を發することがない。

列に必り飲五十名の雅紀と数十名

引込み線は難色

税關構内は狭くて駄目

船渠完成まで待つ

件ひ草地移腕の必要に迫られたの 【水原】 邑では市街の趣販機張に

に本際を設け更に「不可能であるため結局水厂を道質性の水仁線は「げて居りこれ以上路線の引

師を撤き同一時半から雅児行

の旅行列電児は各宗僧既を先頭に

仁川を見物

門の部教教には全面的に配長を

金 道門が関では最振運動

教員を逃す 慶北の計畫

忠北最初の移民達

部分をこの方面に向けること な質励してゐるが更にこの恋

**満洲土地の設立もいよ**/

問島現察園大喜び

十二国五十銭宛の報野金を交明す

る計道保安派に通知があった

安加烈、祖忠武法氏外,

日から七日まで衛生活動製瓦班の 山管、衛生融合質の共命で大月一「釜山」府の開陸盟間は道府及接

総下場の馬山道出に就いて空間の ため廿八日太田惟豊梁尚、直に敷

師は他つてるる、水井御井が郷

慢性症に移行したのである。この慢性淋菌は尿道粘膜の表

排疾は感染後、一二ヶ月を經過して全治せざれば、既に

つつある。故に内服差、或は洗滌、注入、注射薬等にて此 面にあるにあらずして、尿道粘膜の側管を蠶食し、潜在し 「鳥山」既縁、監局大正ラミー坊一覧の月尾島を撮影したい

れてゐるのでその實現は近い將來

**L**外六名、學文兄代表郭泰

結核の退治

く樂上開拓

後一時から順校勝常で歌父兄定期郡起し器々闘廉中、去る十六日午

即を持つて第一些核學務委員等が

學級増加をなすか、この際一學

【清格】 既殺、新典認測與の問語 | 謝烈遊散价有處公司』 と名打ち本 | 城監督局の | 評判部長が邑内外三 (据込四分の一、十二萬五千四) 万至十銭(買収)し過度が戻した状。 を終り、 深月中山までには入れにの近苦を中心に番笛町歩を卸入銭 井二日宮津郷銭が土地似格の査定の近年のは、田田の東西の城市地を質地調査し襲に 一者後庭ちに雄々しく明整に着手し、所はほど邑の中心地になるらしく 川郡内十三戸四十三名の家族が到一附し本年内には竣工の漢定で、場

最初の土地南社であるだけに非常 | 九十坪の見當

世院撲跡を明し左の如き各種の個

八日本で三日間に亘り結核

東海面のみで附近街景通では駅、等数度置委員會は廿八日午後二時であつた京城職群陸岡県上にこの「城城)東海面部業組合は跡域が - 馬山 府金 ( 長山) 斯山村( 休郎中大日・パイングのメンバー)

りは損の

しい高麗焼を摑まされ

千五百圓スツ飛

【河東】河東野経署では殿荷南道

東海面漁組

三ケ軍を編入

てゐるとのことで講洲國建設以来一般地は約八百坪、建物は木造八、 鎮海灰豌豆

水原稅務署

が設て非常に終く減少上不良多く、さのため例年の二分の一の用型に1水便」収証の認識器は個の充紙、物と高地をはじめ全年主関部に1水便」収証の認識器は個の充紙、物と高地をはじめ全年主要都に1、4、2000年 ることしなり、化財財一である

**姓先**きから 現れた資物

掘り出して三年目

諸國位の首脳者に依頼「高盟機を宋方に持込み『原律三樹

河鼻在貫に、低間里で相楽だの

統營の棉作

調べ中

出海国際き上げた、あとで展末さ

空面をトツブに銀水配管は、WC ニナ五国九・セ
式・一科半角状成科 (現ま) 都学師では本年度概算権 集にあめた結果、 図月 | 目からに (現ま) 都学師では本年度概算権 集にあめた結果、 図月 | 目からぶ

耳飾一篇(三五瓦)斉飾三十二周一任されてゐたが、この程命但決定 **公覧も思れ常時電像されたもので「行為の質文金濃度氏に對し二百七一への他名談、メノー、コハケ等々」二十七日時記金仁東右及び土龍所** 死を捕捉してるたところ細金数 墨労並の評似も狭定せず 《若(二)が去る昭和八年四月三日 |大師]||慶州高路頭里||一五金仁| あるが、これ等出土品は販売形 バカチの種を辿くべく自宅 思はないお金儲け 加して新疆時代の遺物であるため 富内の限物館に陳列されてある、

原盤、供物盤等も設備された ご却能で火煙腿を二つとし伸収、 一部能で火煙腿を二つとし伸収、

陰城の三路段三十八ヶ所に総

忠北殖產契

へ札で落札、來月起工

三十八ケ所 琴湖江架橋

状助を目的とする共同施設により 生指導の比較的容易な可能に歐保 して金融組合区域内は付那洛中使 即落の全般的単生策を講じ振興史 【清州】近では股村振興の一助と 増設に決定

は維持しつくあるが、既に清州・配一本行合せをなし年後二時解配生を促進すべく。既に返行十七ヶ府「報源決定、引つと言義調を明された。

開業を間近に控 店舗の申込み殺到

際語者も既に決定・七月から散立

慶山で發會

者と協定決定の模様▲第三工監 場元谷論順間 間摩原超過域低 場元谷論順間 間摩原超過域低本第二工區水原元谷間 著札二

**火葬**場

墓地と共に

引つ越す

り交通上部第上非常に聴いされて行の財優は仁川との直接取引とな

東線と巡察して仁川に集まり殿地ることになる優談である。なほのの時は殿地江殿出地方の物語は京一地の連路は牛馬和かトラフクにこ

総の説願情の紙帳取投所も早晩花ることになる塵様である。なほ問

総当局でも考慮してゐる 町地立地附近に移標せればならず

年内に開通の豫定

| 野盟に開発型以百五十餘名の間| 即氏の宿望である野山工架情期以 【藤山】廿七日午前十時から陛山

【清精】既戦・邑の人口歌唱に伴 學級地設に 父兄が舊起

へた住所不定神承田(で)といふ押。番この雑文にも架削し散方なく大「りつけてあたもので、頭に損手を「大郎の分だけで、ある矢先、二十七日年後五藤鎮鑑・鮮人に新てられてあたが中国滅の「七菱底の刑害五機論を、十菱で費」としてをり、大郎の分だけで、ある矢先、二十七日年後五藤鎮鑑・鮮人に新てられてあたが十四滅の「七菱底の刑害五機論を、十菱で費」としてをり、大郎の分だけで、ある矢先、二十七日年後五藤鎮鑑・鮮人に新てられてあたが十四滅の「七菱底の刑害五機論を、十菱で費」としてをり、大郎の分だけで、ある矢先、二十七日年後五藤鎮艦・鮮人に割て「大郎」の場所、「七に真成」もの、例の「御通」を見ると、大郎の分だけではおきを持ちを持ちました。

夏氏一もの、例の「御通」を見ると素明

一百回になんなん

学るにも物らず適節見重の収容器

少年押賣り行脚

旅をつまけ御宮地まで辿りついた「七相子の名前と金融を記し郷田し阪の蝦夷に頼り度い一念で流道の「安心させるため『御典』を出源し

大邱署でお繩頂戴

て買ってやってくれ、東海公立者

である。この商賣をはじめたのは

が第、路用金を取っため製館

本、日光原母だ館の騒ਆを行ふりなかったが、今般果海に臨んで 部の飲意選集、腰長、衣祭のと、が弱かったが、今般果海に臨んで が弱かりたが、今般果海に臨んで 斯業者福利増進のため開発するも る回徙・馬岩・鬱華の三箇面を

清州の林道 開鑿工事

京日名畵のタ

を派送なくされる原況で、上映

【承豐湯】京日、俯申兩支局主服

道内の各支部を認動はして一個 ヶ所合計州八ヶ所の紀紀所を開い のため愛國難人館の區南支部で 【聖山】農繁期に向つた監付女師 前外労働の能率増進と乳が見 愛婦慶南支部 開設の準備



編入地域實地調查

審議を終つたので併見

防疫週間

府民總立で 釜山の布陣

犯す毎に、尿道粘膜の側面に潜伏せる淋菌は、ここに生活

春より初夏への時候の變り目、或は飲酒其他の不損生を

再

验

Æ

府當っと折衝に一 太田社長馬山 年曜中である 保護にあたることになり目下規

性の

療法

の短管十本入或は中管十本入を使用して再發を防止せよ! の、及び既に再發せる患者に對しては、速かにウラルゴール 力を復活し、再び繁殖して旺盛となり、感染當初に劣らざ

る苦痛を患者に異ふるが通例なり。故に再發の兆候あるも

人部落立退ぎ四に開し原書 **予序を既に買收し、流に
勝有地月影削、鰡町に豆** 頭の個別)

道内の淋菌を死滅せよく

る慢性淋疾をも、治療し得る最も理想的の新葉である。しかるにウラルゴールは數ケ月、或は數年、十數年にわた の慢性淋疾を根本的に全治するは極めて歪難の業である。

然らざれば淋疾は根本的に全治せず

死滅することが超離的に必要である。しかるに

男子の淋疾を歪治するには、尿道内の淋鶥を

/ 録幕に聞って全面的に となって呼ぶる観光に川々

(二川) 郷東局縁起の個身保護の (三山) 人学源統の原成部を組織具備化監験 を含めためまつ野質な要的の影響、豪町を中心とする有志間に野温學 とは主に内地人側の肌入道である。 (三山) 人学源統有のため近り第 (三山) 人学源統有のため近り第 (三山) 人学源統有のため近り第 は、宮屋高校は毎年人前に書後 (三山) 人学源統有のため近り第 (三山) 人学源統有のため近り第 (三山) 人学源統有のため近り第 (三山) 人学源統有のため近り第 川午後一時から前生組合線台画的

徐々に洛解、芒語しつい、歌時間にわなり復留をなる命分にまで、平かに分布繁富し其のまず、をはあるに容解し、内容の前末は単地新典の歌をは東近新典の歌をは、東京に分析を示し、内容の前末は単地新典の歌

使用すれば、初感染は勿論の事、たとへ便性縁 **る淋酔に生で深かす。故にウラルゴールを数半作用を持載し、尿戸粘膜の細胞細微下に寄在で狭くに密解、控跡しつい、敷時間にわたり復歯** 

市の財疾と雖も。後來の機品に見ざる驚くべき

奴果を奏するに到る。

樹木とし、此の粉末は直ちに溶解する所の管中 膜深速性に富む色染剤とを、化學的に結合して 値か数分である。断くの如き療法にては、 銀術溶腫を尿道内へ注入するも、

内容が水路液 粘膜

は、到底短期間に探蔵する事は不可能である。 部胞組織内に搭在紫殖しつ×ある頑強なる淋菌 のために直ちに外部へ流出し、其の作用は一回 に満掃するに過ぎない。また、洗滌、注入等の させるも其の作用は、尿道粘膜の表面を一時的 之に對し内服嫌を服用し、既と共に尿道を通過

ウラルゴールは殺闘力闘き特殊の思痛と、精

支部も設置「河東

動き

**央米佛製法專賣特許** 受動作用持續時間――三時間より六時間使用に要する時間――「回師か二、三分)傾に受する本質――「回師か二、三分

雹 阳

本入 (地) 財 用) 本入 (地) 財 財 用) 三田〇〇

中管十本入(安子医道及醛用)

に大議人、病院用あり)・本人(男子優性関採用)

秦即貿易商 元

説明書連呈

觀響口座·東京·一九三八

電話日本橋(七四八 合 資 (郵金批文は産料割組資権) 七四人

東京市日本橋區本町三ノ 友 H

TU. 114 FOR A RESIDENCE DE LA RESIDENCE DE LA

一般防用には短鞍三本人が適當なりべし。燃柴早々なれば短野十本人な

防止すべし。感染早々なれば短尊十本人を使の次ぎに長帝士本人を使用すべし。感染早々なれば短尊十本人を使の次ぎに長帝士本人を使用すべし。悪性か或は数をは時代、最初に短尊十本人を使用すべし。悪性か或は数



られる。七千八自風風の巨戦を投

僅かに五ヶ年の知説で完成するのだ

半島の北端を彩る

亦島に夏櫻盛

城大豫科の森教授調査歸來

のである、翻進朝鮮は京城と氷川 ムた 資雄の 管理を 列山が 突つ走る 慶萬年の長い間、地下に載つて をつなぐ中央総貫鐵道によっ

は五年後に明道ときまつた。 遂に京城と釜山をつなで中央部

ヘトンネル約六十、その最軽長廿八キロによらうといふのであるかの各道にまたがり、この間感がの遠路を実破せねばならぬ、郷道さ、水川より年齢の脊骨に沿うて通過するは膨北、流波、忠北、京源 熊興保に続し、新名所新名物を求め、節目い蓬詰をあるつて富裕に能理に興命したがら鶴嶽を真が地下の資源、地上の総用を撰り、人出逃した。かくて永川 より自郷 再を飛 ほして、途中の態所々々を出逃した。かくて永川 より自郷 再を飛 ほして、途中の態所々々を 重要走らすのであるから観席に国際もあらうが、それだけにまた面 散版しつと、双六の上りを京城の清原単に定めたのである。 既在の塔のない路、帰また峠の山路に、村から町を縋つて自動

はもとより、これから明確される旧舎で、この時とばかり一緒けせ 観覚して、十分用意をし、早く手を出した春に慶歌の日は見郷ふ。かつたヌクテの棲に村々の中で、どの地が、どう鑁藤するか、早く んとするものも、見のがす歌に行くまい、今まで一文の値打ちもな この題みものこそは、おが朝鮮の中央地帯の意味を助行するもの

を教師菩摩して、街から一様す

聞から一様す 生歌楽に一後葉 しゆる可能ある

を狩り集め男女師、年歸師、公氏

乞食群であ

に明問半語類形に努めてある質問

その結果は一般から非常に助待さ

る方 法はないものか……名 質共一語等について測賞を行つてゐるが

ひすがる街のルンペン群である、

●期間年続くされいな街の反面に 各方内に既在してあるルンペン様 ひすがる街のルンペン様である。 に命じ廿六日張五時から八時まで

烈も不愉快なものはからいつて直 その参考直科塩県のため府内食管

全郎の質局と脳力する事になり、

安土低は能る

も頭を悩ましてゐる、同器山下原

い間かれる警察部長節級に提案、

してゐるが、京徽道籍祭部では五一る外方法がないので各層保安係で

善導する計畫樹

一寸放光に数は国物で街に出た時

夜 らか半時七

おく、すばらしい散学局、

製 一 氏

街の虫、乞食の群

为

根こそぎ掃除

先づ一齊に事情を調べて

の飛日経延局コートで開かれるが 論交流便式追悼大曹は卅、卅一 鮮滿交驩庭

高麗(下)

民都軍大部村教授は、島頭の鳴聲 『心の進化』

演演 日班大及林梁此屋里を納然

原成の「心の測化」といる題目 行行及び衛生理物及所の主能 信午後三階学より、京中で帰 マスター黨の 

けるとあす

美容と映畵

際温・舞踊の神は五月二十月、卅夏好青崗帯の美容船場と美容質調

にて開催する空であるが暗底震響回、京城太平通り朝鮮日根駐職党 後間六時の一

りますからその内見を活用今後りますが、似度活取編規則がありませんので一寸図「異刺取編規則といふものはまだ」 縮るつもりです。

關門海峽改良

繼續施工を通牒

**万**受験生大募集 通信模擬試験

船弁天叩い巾 22×40 (香種色取填へ) フロックク各種 コール天

36× 50 码

金鍵印綾天 22\*40 J6\*40

店商平順浦龍 = 町度農區標本日・京末

なる東京 決に依る 簡別別

養講 大工さんの場の選はこれです!!
大工さんの場の選は、一次です。
大日から投立でものだめにからです。
大日から投立でものだからま多くです。
見本役里・水方市独町原内寺内
見本役と、市内の場の選はこれです!!

■初等 (羅薩)至

洋服裁斷講

# 息見が多かべ 信 用 第 栗甘の田池

の調査単備を整へて廿九日、先づ振り出しを南の始後地氷川に向け 「你を錯重すべく本典記報報弁安正比を特派するとになり、氏は萬鬼本料は興隆別群に一般の希認を張らした中央網算定を現極して質 元つて大したもの、その喜びに沸き立つ中央線線直管定地一層は 鮮内で出来るものは鮮内から求めるというのであるから、 は勢銀としてバラ臘かれようといふし、彼の三千萬間も統特でのしかもその建設はほごつと近年間に七千萬間、この中に続四千萬

半島の寶藏地帯を貫く

東京の朝鮮展

・八月上旬開く

の十一個であるが、

線直の鉄力

能量なしかも神磁が不萬年の音燈

き配されたのだ

高人で、発館人口の約九・四パー

なる、この沿線の人口買八十八

セントを占めること

蒙、江殿、器北、陰北の四四十七 中央総の治線(する

一千六百四十六万里で全年島地・厳業とは?消し罷りからよび退さ

」の最近のお願を思る風吸は、京

亚床の夢覺ます

間の年温の尾地である山田地帯鏡(たま、地もれるたこの線道は太白(日本の線道する車部電源を卸すに)下電道空図の全年高を通知を扱っ貫する中央機種観音はある。山麓の春葉と小日山麓の遠瞰を墓(足りむる 緑 棚 第山は、舞歌東電(離した兵艦線の端面の爪の腕を掘つ貫する中央機種観音はおき、豊盛)のた大自然を循環して無線の端面(縁)、帯に重視してある、一切むけ)にして無磁の端面の爪の腕を掘つ貫する中央機種観音はおき、豊盛)のた大自然を循環して無線の端面(縁)、帯に重視してある、一切むけ)にして無磁の端面の爪の腕を掘つ 「特別経際に開設された京城釜山」るのである。一般度が提唱され来つ 双六の振り出し――永川にて――藤井特派員發

・地下の資源地帯の上層部を走 | は盛無しの資金の選床である、干 て、開開組合として協動に設定する。 干 て、開開組合として協動に設定する。 干 て、開開組合として協動に設定する。

壁磁地帯 巡師のスタートを

は、原は疾地に避するものであるが、をそのました。、その保険は勿論、その関かのに、大変のとと、はかって無味の強な変地を働った。大変のは、一般に対すると、生じさくられ、は、一般に対して、一般に対しないので、一般に対して、一般に対し、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対して、一般に対し、一般に対し、対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、対し、一般に対し、対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、対し、一般に対し、対し、一般に対し、一般に対し、一般に対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対

愈よ鐵道局乘出

で 最近に穿出するもので、海直地質で 最近に穿出するもので、海直地質

下面が主国の全半品を辺壊なく形 で、その背加藤嶺山の挺身隊が人

のほゝ芙葉しき歌脳の概を飄び、 が『西小門町主で行けばなんとかをそのまゝにたどりながら、當時「各種から薬師人のモヒ退<equation-block>書その他」 ロックの如く意識したコース る蘇紫中澎語のメッカとして全師

青黑い乞食の群

ヒ狩り

、金剛山、白頭山等の映跡、 護漢、朝鮮の旅、関郷江の流 民、灌道蘇蘇氏等の協力を得

往來の

朝鮮観光展は今夏八月上旬から朝鮮観光展は今夏八月上旬から

元朝鮮の宣傳打合せのため 泉上中 野様光展、東洋観光ルート等観

れ死機が十ちあつてそれと、母許に 大門器で扱ったモヒ中部書の行倒

つをさかりと議員してゐる、師地 金西水輪の赤器に、この草の機が

い夏の林に機が吹き風れてゐ

一地いて調査を終へて開城した城一

生活を殴けてよるだとりつき前中 ラックで悪んだが必然にも間日午地下の児和崎の無貌さへ彷彿と沿一手に入る」といふざへからど生の ルンペンを厳釈して消費派部へト 京城西小門町支門町は毎鮮に於け一不難で行政協分にしてあるが、間 を徘徊する状態で今年だけでも西一後三時年西小門町から程達からぬ 一緒さ、廿九日正午から西小門町を一路ではこれの始末にほとく一手を 中心に臭耐災では一年九名の中部

彼らの末路を示す死の見本 かりもてもましてゐる 悪の種まき

教し間はこれらせと思の恐行であ

足に治尿二週間位の傷を育うた宗教連続)にはねどばされて雨手

 します。
 します。
 しまず、
 しまが、
 しまが、 極して家田した――その一宮境所 ◆忠南韓山郡新陽公市階校では学 決心した。いづれる中九日諸葛を ・ ないらに 多し、 やめなさい… 轢かるゝ

> 覽會日延べ 結核豫防展

経疫策防週間の膨しとして南大門 二日間日延して一般の柳鶯に供す資助終了のところ卅日、卅一日の 通西工炭酸館で開催中の結核策断 けふの運動 連日朝野が明点で廿九日 州一日まで

○野球 同域質業リーグ能が勝分 同様 (一時) 面縁別最直 (三時) を成ポテランドコート と で成グランドコート Section Sectio 1.1 

※ 京日案内 き恩 開發 **#45** 

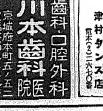














タンスは津村

德 城德 京城明治町 個話本局 1572:4037.3939 持時間各山時間 ◆消費時間

前局の過失を

記念は 1

心の爲め削悶をもう一度参照し

たてゝゐる。微角は唇を結んでゝ れるわ。私間像にね……」

なきのと、

審封 王 4等年 龍桂

香 步步 銀玉

『配のお鯉さん、とても大人しい と接脚の言葉に迷ってしまつ

つてある相手に、脈子はおど!

……」といつて売倒やかに笑

十一局

脚は一三歩迄の局面

田泉

正兼 夫吉

般しつゝ落ち着き拂つて風せず、泉七段に對し、ユの鲵錦を巧みにのうまさを表着版にもしてゐる小

6

『微、佐田と申します。何辛よる『はあ――』

見てゐた。日陰子は勿體振つた

『此の方、佐田さんで仰つしゃる

何時の間に來たのか日輪干と並ん の方と。呼止められて振向くと、 個に乗らうとしてゐると、

立願へ急いだ。ボーチの別で自動

、、、それとも御遠慮してるらつ

治介は原面日な調子だった。

一寸符つてー

雌子もん、此

べいしえる さらにやありませんけ

言あの敬助をおはどんなかべ

選手權大智賀泥一明治神宮外苑

一つの希望(四)

**やありませんわ。私の敬願に吝嗇** 

冒鎖力に御世話しようと云ふのじ

谷節 · 明 · 最出與三天耶

**富山縣下新川郡西和岭村** 尺 八 島山 巴作

同八時(東)郷台期能因法師 赤澤市名里物語 東天稲・天紅同八時五〇分(大)追花節 銀返

で記とし、他事務をの上、そので記とし、他事務を対してあるのである。 日本の事務が、現が警戒の上、その形の事務が、現が警戒の事務が、現が警戒。

内務大臣を會長とし、

淋病患者は 最良とすべきか

同六時一〇分(東)コドモの英

二放送)上京城寶泉リーが戦市

「維子さんも早く入來つしやいよ 一一愛子は堪まりかねて日

こそ、女媧へ行って、頂戴-学が迷つてある様子を見て、

ボッとしたやらな想ひで、 維子は一人機能にそんな事仰つて……。 話しようと思って、此の間つから

機様わえ。私、貴女の先生をお世 『じや、雁子さんさう云ふ事にし 一私、私は、あのう電車で結構な 能踏つてある。 『あら、あたしまで……一段子も 『さ、何誰も早く 乗つ て下さい 命令するやうな口間でいった。 んを送ってあげなさいかと指介は 月輪子は良人の顔に希談な一瞥 戦人ばかりじゃないんですよ

総中八尾おわる保存資 同七時四の分(仙) 伊高 一、在 総の減り漁 山形原新圧町 山形原新圧町 山形原新圧町 山形原新圧町 山形原新圧町 山形原新圧町 山形原新圧町 山形原新圧町 山 山 清磐 ボー 代 田 コライ・シフェー 指 柳 エコライ・シフェー 指 柳 エコライ・シフェー お

於田開 - 後六時廿五分

大乘精神

小優である。楽人で淑術を知るにれてはなられる。一番注意すべきは

を服用せねばならぬ

故に小便を見て減米の取れる系

袱舗患者は醴々の療法に迷はさ一小便を採つて見て、糸間標の淋糸

ついた。二人が飛つてしまると、 が仕方なしに乗ると愛子もそれに 四方へ當り散らしていつた。雁子 態度が不快でならなかった。当り と、共康には日曜子が待ち備へて 日輪子は自動車が動かぬ内に、サ ツサと弦闘に入つてしまつた。 同六時(10分(東) 基礎佛 二十日番組 今日の天気見込 (東)ラギオ電操

丸山崩太郎

同八時四五分(県) 肝湯

ーふつともなくて――。終って産。 近上の親切はなへものですわ。第一子供と大と猫 藤沢 洪 きますが、私狭してが妬たりなん 「あたた他所のお願さまに必要」同一 理能散衝発(六) 石黒 関道同七時〇一分(京)朝の修発観 (東) 時報、は用品値段、鮮供と犬と猫 歴光 浩船

午後等時五分(元) 報告樂 、 ス、深裏通報、翌日の番組(地 一方へのニュース、深象通報、 す。 地方へのニュース、深象通報、 す。 地方へのニュース、側繋棋・ 後 照 第二放送

有田ドラツグ鄭黄宗を訪はれよ

服务: 割 鴨

製作品 H H H H H H H

のが馬鹿々々しかつた。であんな

『それに光頭の無丁さんの口物に

(ロ) 小さな喫茶店レイモンド 作曲松原子加土編曲 (ハーコロ デルカーカーンが作曲松原子加工 編曲 ニー ダイナキング作曲秋 原子加丁編曲 (ホー 春の歌夢デ スープル学曲 (ペー アルフォン おり 李王職技師 下部山並一昌徳宮邦苑より全中― 昌徳宮邦苑より全中― 卅一日き、物

同一一時一〇分 恭適 腓局医牧 

八金易二郎 北州郵船村式會社出 跳 器

マースであっ、場別の塚田君が何處ま で題ぶかこれからが御ものである かもしれぬ 高 方法である。 議僚大勢は決して投
が、一面以外に施いるを得ない。
しげつきら外に道がないやらた見
いしげつきら外に道がないやらに見へ
さ、たが、また/ くさみは相當機 京 火 編月偶數日午前十一京 火 編月偶數日午前十一〇國岛、管城、兵衛行 例 免 卷五四目午前十時 別 卷五四目年前十時 別 人 卷五四目 中前十時 北北、左記(劉爾曾教下皮茨

からの猛撃に激動だにせず二四歩

も、競ありば流襲せんとする頃この非突きは已むを得ないにし

このが、君の特に汚れたよき特徴 だけれど味のある字だ――護ぎた ではれど味のある字だ――護ぎた で 一葉斯汽船出帆廣告 黑山行(急行)每日

要恋如何と、有書献作用の多祭に一覧でかある所以は、景楽に魅する所以は、景楽に魅する所以の如く、栗の御殿に非常な一般もの相違がある

が、悪の世界に非常な の相談がある。 カイは、上書品は、三百八十月も で、高いのになると同じ、十十万年 で、高いのになると同じ、十十万年 で、高いのになると同じ、十十万年 で、高いのになると同じ、十十万年 で、高いのになると同じ、十十万年 で、高いのになると同じ、十十万年 で、高いのになると同じ、十十万年 肺病のるくまく炎後 同價薬と安薬は百倍、二百倍

日尾に出来る小籔やチリメン駿は、綜合

に影を消しでしまひます。

むとは一般に美丽として質揚する複趣即も假を置まず不断に斬み輪

の関土の研究せる新築かあるが、中には一大學研究所内、一・二 したものではない 常は、内雅意味生記録所に於て做 之に反し、日本製局方收載の繋

製品方に收載の製品により、

取んだり掛靴をしても、コップで」を載するのである。どんなに悪なりかも去り、膨も止いが都条なのである。どんなに悪なりかも去り、膨も止いが都条なのである。どんなに悪なりも去り、膨も止いがあると思いませんが 冰病と新薬流 牌土態製の一

を含のは部である。 ・ はのの研究が現はるよう。 「はすべい。 ・ ないのでは、できるのは部である。

感利一歳の商人から方不適の不良、 素品の協変対義をするかと云へば 変封線せられたる。
最長度のもの

七八四 再用用

音は頭売してぬませんから音は頭につき他の一般無法

しい肌に致します。 い許に出來る数や他後は、クララ乳液学 乳液又は薬用クララ美身クリームをお使びになれば、事 ニキビ、ソベカス、シミで個んで居られ ない温度ホルモンを含有す 除去されて、特題な肌になります。 **愛特許の膵臓酵素の薬理作用で、不思議にいつの間にか** て、籔や弛緩のない若々 皮膚を根本的に岩返らせ クリームをよく擦り込んでおきますと、

は世界に比照の

をぜひお使ひにならなけ 栗用クララ美身クリーム 一重質や咽喉の弛緩には

分によく擦り込んでおきますと、 々々の中に輪節 ¥ 1.50

におつけになつておれば、総合ホルモンの作用で、自然 するクララ美身クリーム(虚正製造)、又はクララコールド 都に刻まれ易い太い厳は、岩返り化粧水グララ乳液を常 ホルモンを含有 さつばりとなく H 粧 J i 7.6 16



美身クリームで

9

る方は、クラブ

五〇セン

がしまつて來て、襲り切つたしなやかな

肌になります。